

ITS 世界会議東京 2013 における 道路新産業開発機構の取り組み

福与 弘志

ITS・新道路創生本部 プロジェクトマネージャー

はじめに

ITS 世界会議東京 2013 が、本年 10 月 14 日（月）～18 日（金）に東京国際フォーラムおよび東京ビッグサイトで開催されます。本会議における道路新産業開発機構の主な取り組みとして、ショーケースデモンストレーションや展示会及び ITS ハンドブックの更新について紹介します。

2 ショーケースデモンストレーション

「ITS GREEN SAFETY」は、“世界一グリーンで安全な道路交通社会の実現”を目指して、日本の官民が協力し、協調型 ITS システムにより交通問題解決に取り組む活動です。ITS 世界会議東京にてショーケースを実施し、これまでの成果を世界に向けて発信することとしています。

表 1 「ITS GREEN SAFETY ショーケース」の推進組織

主催	ITS 推進協議会 内閣官房、内閣府、警察庁、総務省、経済産業省、国土交通省、ITS 推進協議会参加企業、日本経済団体連合会、ITS Japan
共催	国土交通省国土技術政策総合研究所、UTMS 協会、道路新産業開発機構、高速道路会社各社
協賛	日本自動車工業会、日本自動車輸入組合、日本自動車連盟、電子情報技術産業協会

「ITS GREEN SAFETY ショーケース」の官民協力の推進組織について、表 1 に示します。

ITS 世界会議東京では全部で 20 件のショーケースが実施されますが、その内協調型 ITS システムの 5 プロジェクトを「ITS GREEN SAFETY ショーケース」としています（表 2、図 1）。

道路新産業開発機構は、この 5 プロジェクトの内、国



図 1 「ITS GREEN SAFETY ショーケース」の紹介

表2 「ITS GREEN SAFETY ショーケース」一覧

名称	実施主体
次世代 DSSS (I2V)	警察庁 警視庁 UTMS 協会 UTMS 協会会員会社
通信利用型先進安全自動車 (V2V、V2P)	国土交通省自動車局 ASV 推進検討会 (ASV 5 デモ対応タスクフォース) ASV メンバー会社等 (16 社)
ITS スポットサービス (I2V)	国土交通省道路局 国土技術政策総合研究所 道路新産業開発機構 首都高速道路株式会社 「ITS スポットショーケース」プロジェクトチーム
高速道路サグ部の交通円滑化サービス (I2V、V2V)	国土交通省道路局 国土技術政策総合研究所 道路新産業開発機構 スマート交通流制御研究会 (カーメーカー5社)
モバイル通信と ITS スポットの協調サービス (I2V)	国土技術政策総合研究所 道路新産業開発機構 東日本高速道路株式会社 中日本高速道路株式会社 首都高速道路株式会社 次世代の協調 ITS に関する共同研究メンバー会社 (2社)

※ DSSS : ドライビング セーフティ サポート システム
I2V : インフラと車両間の協調サービス
V2V : 車両間の協調サービス
V2P : 車両と歩行者の協調サービス

土交通省道路局及び国土技術政策総合研究所が係わる3プロジェクトについて参加しています。以下に、この3プロジェクトについて概要を紹介します。

2-1 ITS スポットサービス (I2V)

2011年に世界初の路車協調システム「ITS スポットサービス」が開始され、全国の高速道路で運転支援サービスが提供されています。ショーケースでは、道路の混雑状況、路上で発生する事象や走行速度に応じて行う案内や注意喚起等を行う「ダイナミックルートガイダンス」「安全運転支援」等のサービスを、日交通量100万台を越える首都圏の大動脈、首都高速道路で体験していただ



図2 ITS スポットサービス (I2V)

きます。また、クレジットカードを活用した技術的検証中のキャッシュレス決済を有料駐車場でデモ体験していただけます。

2-2 高速道路サグ部の交通円滑化サービス (I2V、V2V)

ITS スポットと ACC / CACC 車両を活用した路車間・車車間連携による高速道路サグ部の渋滞緩和を目的とした交通円滑化走行を体験します。ITS スポットから交通状況に応じた交通円滑化に資する走行方法を促す情報を提供し、車間を自動制御する ACC (アダプティブクルーズコントロール) やこれに車車間通信機能を加えた CACC (コーポラティブ アダプティブ クルーズコントロール) を活用してスムーズな交通流を実現。これによって高速道路における渋滞緩和を目指しています。



図3 高速道路サグ部の交通円滑化サービス (I2V、V2V)



図4 モバイル通信とITSスポットの協調サービス (I2V)

2-3 モバイル通信とITSスポットの協調サービス (I2V)

お台場から海ほたるPAまでの高速道路を走行して、次世代のITSを体験するプログラムです。ITSスポットと携帯電話網からの情報提供を連携させることにより、高度交通情報に加えて道路標識、ランドマーク、注意喚起情報をスマートフォンの画面に表示、アクアトンネルにおける緊急避難誘導など走行するルートに応じた連続的な情報提供を実現。また、ITSスポットを利用したスタンプラリーなどの新しいサービスの紹介を行います。

＜紹介するデモ機能＞

- ・ITSスポット情報のスマートフォン表示
- ・携帯電話網を利用した連続的な情報の提供
- ・言語選択 (日・英・中・韓) による情報提供
- ・ITSスポットスタンプラリー

- ・アクアトンネル内での緊急避難情報の提供
- ・海ほたるPAでの施設情報の提供

3 展示会

展示会は東京ビッグサイト西館1階の約20,000㎡の会場で実施されます。各国のITS関係機関やITS関連の民間企業が数多く出展し、世界の政策担当者・研究者・関連企業・団体の幅広い交流が行われます。

国土交通省道路局を中心とした道路グループの展示ブースに、道路新産業開発機構も参加しています。展示ブースは、会場中央部のアトリウム (吹抜け空間) に設置されることになっています。展示ブースの広さは135㎡ (9m×15m) で、次のテーマを中心として、パネルや映像による展示を行うほか、ドライブシミュレーターによる体験も計画しています (図5)。

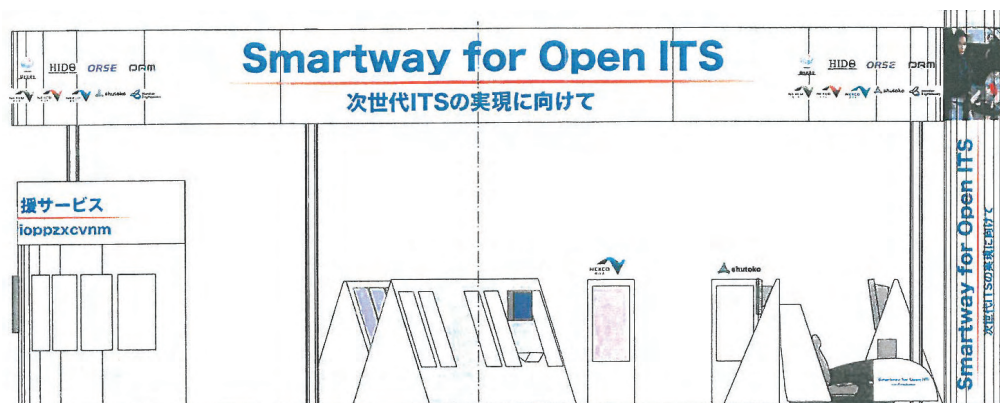


図5 道路グループの展示計画 (イメージ)

- ・ ITS スポットによる世界初の運転支援サービス
- ・ 運転支援の高度化によるオートパイロットシステムの実現に向けて
- ・ プローブデータの活用による道路管理の高度化・効率化
- ・ ETC の効果とこれからの展開
- ・ 国際協調による ITS の進展
- ・ 地域に広がる ITS
- ・ 日本の道路と情報化の歴史
- ・ 道路基盤地図の高度化
- ・ 高速道路会社コーナー（5社）
- ・ ITS スポット体験シミュレーター

道路グループ展示ブースの関係機関について、表3に示します。

表3 道路グループ展示ブースの関係機関

国土交通省	道路局 国土技術政策総合研究所
高速道路会社	東日本高速道路株式会社 中日本高速道路株式会社 西日本高速道路株式会社 首都高速道路株式会社 阪神高速道路株式会社
団体	国土技術研究センター 道路システム高度化推進機構 日本デジタル道路地図協会 道路新産業開発機構

4 ITS ハンドブック

ITS ハンドブックは、日本の ITS について幅広く分かりやすくまとめられたもので、和文・英文併記であり、これまでも世界会議などで活用されてきました（図6）。

現在の 2011 年版を 2013 年版に更新することとし、構成についても ITS の新たな動きを取り込み変更することで作業を実施しています。ITS 世界会議東京に向けて新 ITS ハンドブックを作成し、我が国の ITS の取り組みについて、国内外に幅広く情報発信を行いたいと考えています。

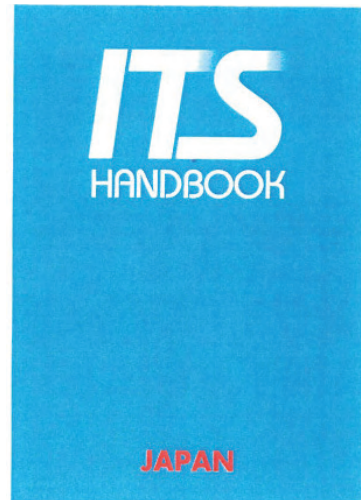


図6 ITS ハンドブック（イメージ）

5 おわりに

ITS 世界会議の日本開催は、前回の 2004 年名古屋会議から 9 年ぶりとなります。ITS に関する重要なイベントと位置づけ、また国内外に日本の ITS の取り組みについて情報発信するチャンスと捉えて、国土交通省を始めとする関係機関と連携して準備を進めています。

このトラフィック&ビジネスが発行されるのは、ITS 世界会議東京が開催される直前になります。会議の本番におきましても、ショーケースデモンストレーションや展示会、新 ITS ハンドブックの配布などをしっかり行っていきたいと考えています。皆様のご来場をお待ちしています。